

令和3年度
中国環境パートナーシップオフィス
中国地方ESD活動支援センター
業務運営計画（概要版）

運営団体：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

1 業務スキーム及び戦略

仕様書に基づく業務の内容を方針に合わせて構造化すると共に、令和2~4年度の成果を積み上げていくための重点性を設けて、業務を戦略的に推進する。



2 EPO ちゅうごく業務

① 持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出及び支援

i) 環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

中国地方の支援事務局として、中国四国地方環境事務所と連携し、採択団体(令和3年度採択団体は一般社団法人隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会(島根県隠岐郡)、ツネイシグリーンエナジー株式会社(広島県神石高原町)、株式会社萩・森倫館(山口県萩市)の3団体、令和2年度採択からの継続(2年目)は公益財団法人うんなんコミュニティ財団(島根県雲南市)の1団体)に必要な支援を実施することを通して、全国的にモデルとなる地域循環共生圏づくりプラットフォームを構築する。なお、環境本省をはじめとする関係機関と共に全国の進捗共有や事業スキームの改善を図りながら事業を推進する。

ii) 地域における地域循環共生圏づくりの担い手の把握とネットワーク形成支援

地域循環共生圏の萌芽となる取組を検討・実施している団体等のヒアリングを通して、取組内容や支援ニーズ等を把握すると共に、主体間の連携や協働、ネットワーク形成等を促進する。

iii) 森里川海推進ネットワークの形成

森里川海プロジェクトに係る中国地方及び全国の関係機関と連携した賛同者交流会の開催を通して、企業等の参画を促すと共にネットワークを形成する。(岡山県において開催予定)

また、森里川海の実用活用に関係する現地の主体へのヒアリングや情報交換会等の実施を通して、地域自然資源のワズユースに向けた可能性や課題等を抽出し整理すると共に、今後に向けた取組展開への機運を高める。

(ヒアリング: 鳥取県、島根県において実施予定・情報交換会: 鳥取県において開催予定)

iv) 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

中国財務局及び中国四国地方環境事務所と連携した情報交換会やワークショップ等の開催を通して、地域金融機関や企業等との関係を構築すると共に、地域循環共生圏等の基本的な考え方や地域資源の活用に向けた方向性等を共有する。(中国地域内において開催予定)

また、GEOC等が主催する事業検討会議、情報交換会に出席し、取組状況の共有を行うと共に、主催者が招聘する金融機関、経済団体等との意見交換を通じて、ネットワーク構築のプロセス、意見交換等の場の運営、案件形成などに対して助言を受け、取組内容の改善を図る。

② 中間支援機能との連携強化

i) 地域循環共生圏づくり支援ネットワークの強化

中国地方の特色を活かした取組事例のエクスカージョンを通して、地域循環共生圏づくりを担う実践者や支援者の育成を図る。また、地域循環共生圏づくり支援ネットワークの構成団体や他団体等との連携によって、ネットワークによる相互扶助や人材育成等の中間支援機能を高める。

(島根県において開催予定)

ii) 中間支援組織が行うイベント・セミナー等の開催協力・広報

各地における活動の発展や団体の成長、広域的な人材・情報交流を促すため、中国地域内外の中間支援組織等が行うイベント等の開催協力や広報、参加を通して、中間支援機能を強化する。

③ 相談対応及び情報センター業務

i) 相談対応

環境教育等促進法第 19 条に基づく拠点として、環境保全活動や環境教育、協働取組等に係る相談及び照会に対応し、民間団体・地方公共団体双方の取組を支援することを通して、自主的・自発的な取組や協働を促進する。

また、対応案件から得られた情報・知見を関係機関と共有し、他団体と連携した対応を行うことで相互扶助機能を高める。

ii) 情報センター業務

環境パートナーシップ拠点の基盤として必要な情報を収集・分析・蓄積すると共に、戦略的かつ計画的な発信を通して、中国地域の環境保全活動や協働取組、EPO ちゅうごく業務への理解を促進する。

また、ホームページのリニューアルを通して効果的な情報発信を展開し、発信力を強化する。

3 中国地方 ESD センター業務

① ESD 活動を支援する情報共有

i) 相談対応

ESD 推進ネットワークのハブとして、事業から得られた情報やノウハウ等を活用しながら相談及び照会に対応し、民間団体・地方公共団体双方の取組を支援することを通して、自主的・自発的な ESD 活動や協働を促進する。

また、対応案件から得られた情報・知見を関係機関と共有し、他団体と連携した対応を行うことで相互扶助機能を高める。

ii) 情報収集、発信等

中国地方の ESD 推進ネットワークのハブとして、全国及び各種のネットワークを活用し、ESD 活動を推進するために必要な情報・知見・ノウハウを収集する。

また、国の政策や地域の活動、中国地方 ESD センターの取組等を効果的に発信すると共に、全国・地方センターと連携した情報発信を強化し、ESD の普及・啓発や活動の発展、広域的な情報交流、中国地方 ESD センター業務への理解促進を図る。

② 現場のニーズを反映した ESD 活動の支援

ESD に関連する様々なイベントや会議等への出席を通して、関係機関や地域 ESD 活動推進拠点、ESD 実践団体等と情報交流を行い、ESD 推進のための各主体・地域の支援ニーズの把握やネットワーク構築、中国地方 ESD センター業務への理解促進を図る。

また、それらをふまえて、EPO ちゅうごく・中国地方 ESD センター運営委員会において ESD 活動の支援機能について検討し、その結果を ESD 推進ネットワークで共有・活用することで幅広く効果的な支援を展開する。

③ ESD 活動のネットワークの形成、ESD 実践の学びあいの場の促進

i) 全国 ESD センター及び他の地域の地方 ESD センターとの連携

全国の関係機関や有識者等が集う会議への出席を通して、第 2 期 ESD 国内実施計画等をふまえた ESD 推進ネットワークの新たな方向性や事業スキームの展開を図り、全国各地の情報共有や連携を促進する。

ii) ESD 活動に関するネットワークの構築

全国の地域 ESD 拠点や ESD 実践者等と積極的に情報交換を図り、中国地方においても地域資源を活用した学びあいの機会づくりを通して、教育関係者・マスコミ・ESD 活動実践者等による SDGs マルチステークホルダープロセスを創出する。

また、地域 ESD 拠点の登録支援や取組事例の水平展開、継続的なフォローを通して、中国地方及び全国の ESD 推進ネットワークの拡充し、地域 ESD 拠点の機能強化を図る。

④ 人材育成

i) 全国フォーラムの分科会活動

脱炭素社会の実現に向けた環境省と文科省の連携事業として、学習者や学校関係者、地域のステークホルダーが協働で学校のエネルギーマネジメントを図ることと同時に、ESD for 2030 を実践する人材(児童・生徒、教員、事業者、温暖化防止活動推進員、専門家等)を育成する。

ii) SDGs ビジネスセレクトブック制作プロジェクトの水平展開に向けた情報発信

過去 3 カ年に渡り SDGs 未来都市の広島県等と協働して制作した SDGs ビジネスセレクトブックの発展形として、広島県及び中国地方 ESD センター・EPO ちゅうごくのホームページにより幅広いテーマの取組について情報発信を強化し、ローカル SDGs を推進する。

また、一連のプロジェクトを通じて、SDGs の達成に向けた大学生や企業等の人材育成、協働促進を図る。

4 管理業務

中国四国地方環境事務所や他地方環境パートナーシップオフィスと連携して、EPO ちゅうごく／中国地方 ESD センターの適切な管理運営に務める。

【運営体制】

